

## 職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地		
専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ大阪		平成20年2月6日	水野 倫理		〒550-0014 大阪市西区北堀江2-14-3 (電話) 06-6537-4333		
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地		
学校法人 水野学園		昭和58年4月1日	水野 孝彦		〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-29-2 (電話) 03-3499-0350		
目的	ジュエリーデザイン科は、ジュエリー・アクセサリ業界において、商品開発(企画・デザイン・製作)ならびに商品販売、および関連する商品知識を持った人材を育成することを目的とする。						
分野	課程名	学科名		専門士	高度専門士		
文化・教養	ジュエリー専門課程(文化教養)	ジュエリーデザイン科(ジュエリー&アクセサリコース)		平成21年文部科学省告示第21号	0		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2220	88	112	4076	0	608
生徒総定員		生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60人		41人	14人	5人	19人		
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 評価基準は、90点以上をA、80点以上90点未満をB、70点以上80点未満をC、60点以上70点未満をD、59点以下はF(不可)とする。また評価には値しないが習得レベルに達したと判断された場合はPとする。 成績評価は、課題物評価、試験等により行う。		
長期休み	■学年始:4月1日～4月14日 ■夏季:8月1日～8月31日 ■冬季:12月20日～1月10日 ■学年末:2月17日～3月31日		卒業・進級条件		学校長および教職員による卒業・進級判定会議において認定されること。以下の①～④を総合的に判断して認定する。 ①課題物評価 ②出席率 ③授業態度 ④成績 ・学費を完納していること。		
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 電話・メールでの連絡、担任面談、自宅訪問、保護者連絡 など		課外活動		■課外活動の種類 国内外コンテスト参加、学園祭、海外研修旅行 など ■サークル活動: 無		
就職等の状況	■主な就職先、業界等 (株)TASAKI、(株)俄、(株)ケイ・ウノ など ■就職率 <sup>※1</sup> : 95.8 % ■卒業者に占める就職者の割合 <sup>※2</sup> : 66.7 % ■その他 海外留学、進学、オリジナルブランドの立ち上げ など (平成26年度卒業者にに関する平成27年5月1日時点の情報)		主な資格・検定等		貴金属装身具製作技能検定【3級・2級】 ジュエリーコーディネーター検定【3級・2級】 水野学園 職業技能検定 CAD部門【3級・2級・1級】 ジュエリー部門 ・デザイン【3級・2級・1級】 ・メタル【3級・2級・1級】 ・WAX【3級・2級・1級】		
中途退学の現状	■中途退学者 7名 ■中退率 15.6 % 平成26年4月1日 在学者 45名 (平成26年4月1日 入学者を含む) 平成27年3月31日 在学者 38名 (平成27年3月31日 卒業者をを含む) ■中途退学の主な理由 経済上の理由、健康上の理由、履修上の理由 など ■中退防止のための取組 担任制、出席状況・課題提出状況を書いた保護者通知の発送(年2回)、学校長メールアドレスの全学生公開、専門医によるカウンセリング、学生相談、個人面談 など						
ホームページ	URL: <a href="http://hiko-osaka.jp/">http://hiko-osaka.jp/</a>						

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

- ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとす。
  - ②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。
  - ③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。
- (「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

## 1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

ジュエリー・アクセサリー業界において、商品開発(企画・デザイン・製作)ならびに商品販売、および関連する商品知識を持った人材を育成するために、同業界の企業と連携して以下の①～④を踏まえた教育課程の編成を行う。具体的には、新たな科目の設定、既存科目の内容・教育手法の改善、教材の開発、ジュエリーデザイナー、製作者、販売スペシャリストとして必要となる知識や技術など実践的かつ専門的な職業教育の実施に向けた協議・検討することを基本方針とする。

- ①新商品企画に関するマーケットリサーチや商品開発力の育成
- ②各種PCソフトや3DCADデザイン技術を含めた、商品デザイン力の育成
- ③オーダーメイドから量産までに対応する商品製作の技術力の育成
- ④商品の販売に関わる流通や店舗企画力、顧客対応力の育成と、関連する商品知識の習得

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年9月1日現在

名前	所属
山内 秀夫 様	大阪ジュエリー工芸協同組合 副理事長
麻野 正紀 様	アップライト 代表
奥野 剛司 様	おくの宝飾 代表取締役
藤本 久幸 様	藤本商店 代表

(開催日時)

第1回 平成27年2月24日 13:00～14:15

第2回 平成27年8月28日 14:00～14:30

## 2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

多様化するジュエリーマーケットの現状を把握し、業界において即戦力をもった人材を育成するために、連携する企業より商品の企画から製品化までの流れを享受ならびに学生作品の評価を受けることを基本方針とする。

科目名	科目概要	連携企業等
職業実践授業 (ワイヤーセッティングペンダント)	外部より講師を招聘し、高級宝飾・貴石の台座と使われるワイヤーを用いてペンダント制作をし、技術と観察眼を向上させる。	大阪ジュエリー工芸協同組合

## 3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

実務に関する知識、技術、技能などの向上のため、人材開発や教育指導力の教育専門機関による研修、各業界から専門家を招聘しての専門技術・専門知識の研修を研修規定に則して計画的に実施する。

## 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成27年9月1日現在

名前	所属
藤本 久幸 様	大阪ジュエリー工芸協同組合 理事長
山内 秀夫 様	大阪ジュエリー工芸協同組合 副理事長

(学校関係者評価結果の公表方法)

[http://hiko-osaka.jp/quickcode/hiko/themes/osaka\\_pc/common/css/images/about\\_info/osaka\\_h27\\_hyouka.pdf](http://hiko-osaka.jp/quickcode/hiko/themes/osaka_pc/common/css/images/about_info/osaka_h27_hyouka.pdf)

## 5. 情報提供

(情報提供の方法)

[http://hiko-osaka.jp/quickcode/hiko/themes/osaka\\_pc/common/css/images/about\\_info/osaka\\_h27\\_jouhou.pdf](http://hiko-osaka.jp/quickcode/hiko/themes/osaka_pc/common/css/images/about_info/osaka_h27_jouhou.pdf)

## 授業科目等の概要

(ジュエリー専門課程ジュエリーデザイン学科 ジュエリー&アクセサリコース) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			デザイン基礎実習Ⅰ-1 (ジュエリーデザイン基礎)	ジュエリー独特の立体表現を理解し、様々なデザインリングの表現方法を学習する。	1前	32			○	○			○		
○			デザイン造型実習Ⅰ-1 (デザイン展開基礎)	具象物をモチーフにし、ジュエリーにおけるデザイン展開の方法や、二面図による製図表現を学習する。	1前	32			○	○			○		
○			デザイン基礎実習Ⅰ-2 (パース技法 基礎Ⅰ)	透視図法の基本を習得し、ジュエリーリングの基礎を学習する。	1前	32			○	○			○		
○			デザイン基礎実習Ⅰ-3 (パース技法 基礎Ⅱ)	透視図法を応用し、ジュエリーリングにおける基礎とその表現方法を学習する。	1通	32			○	○			○		
○			デザイン造型実習Ⅰ-2 (デザイン展開Ⅰ)	具象物をモチーフにし、ジュエリーにおけるデザイン展開の方法や、二面図による製図表現を学習する。	1通	32			○	○			○		
○			デザイン造型実習Ⅰ-3 (立体構成)	ジュエリーデザインの基礎として、アイデアの展開と立体の構成について学習する。	1後	32			○	○			○		
○			デザイン基礎実習Ⅰ-4 (パース技法 基礎Ⅲ)	リングの構造をふまえた表現方法と宝石の表現等を学習する。	1後	32			○	○			○		
○			デザイン造型実習Ⅰ-4 (デザイン展開Ⅱ)	テーマによるジュエリーデザインの展開、発想からのアイデア展開、プレゼンテーションまでを学習する。	1後	32			○	○			○		
○			コンピューター演習 (CADによるリング制作 基礎)	CADソフトの基本的な操作と、出力した立体造形物の制作工程の基礎を学習する。	1後	32		○		○			○		
○			メーキング基礎実習Ⅰ-1 (リング制作 基礎Ⅰ)	地金加工工具の取り扱いを学び、基本的なリングサイズの出し方や制作工程、シルバーの仕上げを学習する。	1前	40			○	○			○		
○			メーキング基礎実習Ⅰ-2 (リング制作 基礎Ⅱ)	甲丸リングの制作工程とテクニックを学習する。	1前	40			○	○			○		
○			メーキング造型実習Ⅰ-3 (ワックス造型 基礎)	WAX原型制作に必要な工具の使い方、切削、裏抜き、仕上げまでの工程を学習する。	1前	40			○	○			○		
○			メーキング造型実習Ⅰ-1 (立体造形 基礎Ⅰ)	1枚の指定された形の板から、切込み、曲げ、接合などの限られた加工での立体的な造形表現を学習する。	1前	32			○	○			○		

○		メイキング造型実習Ⅰ-2 (立体造形 基礎Ⅱ)	デザインモチーフを観察、研究した上でデザインしたものを、立体的に造形するプロセスを学習する。	1前	64				○	○	○	○			
○		メイキング造型実習Ⅰ-3 (ブローチ制作 基礎)	透かした銀板を重ね合わせオーバーレイ技法を習得し、既存のブローチ金具を使用してブローチ制作を学習する。	1前	32				○	○		○			
○		メイキング造型実習Ⅰ-4 (オリジナルジュエリー制作Ⅰ)	クラス単位でジュエリーを企画・制作し、本校学園祭にて展示販売を行う。また、商品制作にあたり必要な知識を習得する。	1前	48				○	○		○			
○		メイキング基礎実習Ⅰ-4 (覆輪留め技法)	オパールカボションの石を使用し覆輪石座のソリテールリング制作工程及び仕上げ方法を学習する。	1通	96				○	○		○			
○		メイキング造型実習Ⅰ-5 (宝石研磨)	原石のカットからポリッシングまでのプロセスを学び、自身で研磨した石を使用して宝石を効果的に使ったリング制作を学習する。	1後	64				○	○		○			
○		メイキング基礎実習Ⅰ-5 (ヒンジ金具)	ヒンジ金具の構造を学び、ロケットペンダント制作を学習する。また、パイプや四角形といった基礎的形態の制作プロセスを学習する。	1後	64				○	○		○			
○		メイキング造型実習Ⅰ-6 (オリジナルジュエリー制作Ⅱ)	一年間で学んだ技術や技法を使い、テーマに沿ったジュエリーを制作する。	1後	96				○	○		○			
○		メイキング造型実習Ⅰ-7 (イメージからの造型)	テーマに基づき、イメージ展開したものを切削造形しバングル制作を学習する。	1後	32				○	○		○			
○		メイキング造型実習Ⅰ-8 (セットジュエリー制作)	線素材を使用して構成したペンダントトップ制作を学習する。	1後	64				○	○		○			
○		宝石学 (宝石の基礎知識)	宝石の基礎知識。硬度や輝きなどの宝石に関係する基礎的な物理・光学的性や、宝石を種類別にそれぞれの知識について学習する。	1前	36		△		○	○		○			
○		基礎知識テスト	基礎的なジュエリーの制作・デザイン・宝石・ビジネスに関わる知識を学習する	1後	12			○		○		○			
○		学外研修	ジュエリー・宝石関連等の販売会・美術館・展示会場等の見学または参加を通じて、デザイン・制作知識および生産・流通・販売等の業界知識について学習する。	1前	40				○			○	○		
○		特別セミナー	本学創立の歴史や学園の遍歴を通してその学園理念を学習する。	1後	4			○		○		○			
	○	自主制作/自由制作	習得した技術をさらに向上させるため、自主的に研究・学習する。	1通	132				○	○		○			



○	○	メイキング基礎実習Ⅱ-5 (留め金具)	基本的な留め金具の構造理解と制作プロセスを学習する。	2後	40				○	○	○							
○	○	メイキング造型実習Ⅱ-4 (ブレスレット)	ブレスレットの構造を理解し、効率的な量産方法を学習する。	2後	96				○	○	○							
○	○	メイキング造型実習Ⅱ-5 (ブランディング)	自己ブランドのジュエリーを制作し、考案デザインの効率的な制作方法を学習する。また、ジュエリー市場の傾向をリサーチし、新しい提案を試みる。	2後	136				○	○	○							
○		卒業テスト	ジュエリーの制作・デザイン・宝石・ビジネスに関わる知識を試験を通して確認する。	2後	8		○		○		○							
○		学外研修	ジュエリー・宝石関連等の販売会・美術館・展示会場等の見学または参加を通じて、デザイン・制作知識および生産・流通・販売等の業界知識について学習する。	2後	20				○		○	○						
○		職業実践授業 (ワイヤーセッティングペンダント)	外部より講師を招聘し、高級宝飾・貴石の台座と使われるワイヤーを用いてペンダント制作をし、技術と観察眼を向上させる。	2後	32				○	○								○ ○
○		ビジネスマナー	ジュエリー業界への就職を前提としたビジネス講義及び実習。マーケティングからビジネスマナーの学習をする。	2後	8		○			○								○
○		特別セミナー	外部から講師を招聘し、専門分野における最新の情報・知識を学習する。	2後	4		○			○								○
	○	自主制作/自由制作	習得した技術をさらに向上させるため、自主的に研究・学習する。	2通	132					○	○							○
○	○	デザイン造形実習Ⅱ-1 (ブランドプロトタイプ制作)	学園祭にて発表するオリジナルブランドの企画・デザインを行う。	2前	64					○	○							○
○	○	デザイン造形実習Ⅱ-2 (ラインナップデザイン)	学園祭にて発表するオリジナルブランドのラインナップデザイン及びディスプレイデザインを行う。	2前	72					○	○							○
○	○	デザイン造形実習Ⅱ-3 (カレッジリングデザイン)	キャンパスライフの思い出と本校の卒業の証でもある専門士の称号を刻み込む記念リングを企画・デザインする。	2後	64					○	○							○
○	○	デザイン造形実習Ⅱ-4 (マイブランドオリジナルバックルデザイン)	オリジナルのバックルとベルトをデザインする。デザインした課題は制作授業で実作する。	2後	48					○	○							○
○	○	コンピューター演習 (原型制作)	PCを用いて3Dソフトを操作し、デザイン及びデータ作成方法を学習する。	2前	40				○		○							○
○	○	メイキング基礎実習Ⅱ-1 (量産リング仕上げ)	量産品制作の基本である鑄造リングのサイズ直し及び磨き技法を学習する。	2前	32					○	○							○







○	○	メーキング造型実習Ⅱ-4 (マリッジリング)	多様化した今の時代背景を踏まえ、ブライダルテーマからマリッジリングの新提案を行う。	2 後	64					○	○							
○	○	メーキング造型実習Ⅱ-5 (ヘッドオーナメント)	ブライダルテーマから、挙式に使用するヘッドジュエリーを新提案する。頭に装着するための構造を理解し、ヘアメイクを含め制作プロセスを学習する。	2 後	104					○	○							
○	○	メーキング造型実習Ⅱ-6 (ブライダルアイテム)	古い時代様式を踏まえ、ブライダルテーマから新ジュエリーとしてのブートニアを提案する。	2 後	104					○	○							
○		卒業テスト	ジュエリーの制作・デザイン・宝石・ビジネスに関わる知識を試験を通して確認する。	2 後	8				○		○							
○		学外研修	ジュエリー・宝石関連等の販売会・美術館・展示会場等の見学または参加を通じて、デザイン・制作知識および生産・流通・販売等の業界知識について学習する。	2 後	20					○			○	○				
○		職業実践授業 (ワイヤーセッティング ペンダント)	外部より講師を招聘し、高級宝飾・貴石の台座と使われるワイヤーを用いてペンダント制作をし、技術と観察眼を向上させる。	2 後	32					○	○				○	○	○	
○		ビジネスマナー	ジュエリー業界への就職を前提としたビジネス講義及び実習。マーケティングからビジネスマナーの学習をする。	2 後	8				○				○					○
○		特別セミナー	外部から講師を招聘し、専門分野における最新の情報・知識を学習する。	2 後	4				○				○					○
	○	自主制作/自由制作	習得した技術をさらに向上させるため、自主的に研究・学習する。	2 通	132						○	○						○
合計					96科目	4884単位時間 ( 単位)												

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件＝卒業までに必要な履修科目をすべて履修していること。 必修科目のすべてを履修していること。自由選択科目は対象外。		1 学年の学期区分	2期
		1 学期の授業期間	26週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。